

平成29年度

東北大学大学院  
情報科学研究科

博士課程前期2年の課程  
学生募集要項  
(平成29年4月入学)

試験日程

平成29年3月1日(水)～3月3日(金)

平成28年11月



平成29年度  
東北大学大学院情報科学研究科  
博士課程前期2年の課程学生募集要項  
(平成29年4月入学)

試験日程 平成29年3月1日(水)～3月3日(金)

平成28年11月

情報科学研究科は、情報基礎科学専攻、システム情報科学専攻、人間社会情報科学専攻及び応用情報科学専攻の4専攻で構成されています。

それぞれの学問分野における先端的な教育研究を行うと共に、多様な分野間の学際的研究の発展をめざしています。したがって、既修の専門分野とは異なる分野の教育を受ける道も開かれています。新時代の“情報科学”を創造しようとする意欲的な人の応募を期待します。

#### アドミッション・ポリシー

本研究科がめざす新しい“情報科学”の創造に貢献できる人を育てるため、本研究科が培ってきた成果をさらに推し進めようとする学生、いくつかの分野にまたがった研究を積極的に進めようとする学生、すでに学んだところとは異なる分野の研究を志す学生、また、多様なバックグラウンドを有する外国人留学生や社会人などの受け入れを推進します。

#### 博士課程（後期）学生支援事業について

情報科学研究科は平成18年度から、専門性に優れた大学院学生を経済的に支援し、学習環境を整備することを目的とした博士課程（後期）学生支援事業を導入しています。

<詳しいことは、情報科学研究科教務係までお問合せください。>

## 1. 募集する専攻及び選抜区分

専攻	募集人員			
	一般選抜 (注1)	早期卒業生 選抜 (注2)	社会人選抜 (注3)	外国人留学生等 選抜 (注4)
情報基礎科学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名
システム情報科学専攻				
人間社会情報科学専攻				
応用情報科学専攻				

(注1) p.4～p.6に記載の研究室番号の内、括弧書きの研究室(分野)の募集は、下記のいずれかに該当する者を対象として行います。

- ・ 2. 出願資格の(9)、(10)に該当する者
- ・ 2. 出願資格の(1)～(8)のいずれかに該当し、5. 選抜方法 1)に記載の受験方法(1)、(2)又は(3)により受験を希望する者(p.5参照)

(注2) 早期卒業制度による卒業者を対象とする選抜に出願できる者は、3年以上4年未満の在学をもって卒業を認められ、2. 出願資格(1)に該当する者

(注3) 社会人選抜に出願できる者は、社会人(注5)であって、原則として2年以上の勤務歴を有し、2. 出願資格のいずれかに該当する者(p.6参照)

(注4) 外国人留学生等選抜に出願できる者は、外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者(これらを「外国人留学生等」と総称する。)で2. 出願資格のいずれかに該当する者

(注5) ここでいう社会人とは、官公庁・学校・企業等の技術者・教員・研究者等として経験を有する者である。また、職歴がない場合にも、社会人となる場合があるので、情報科学研究科教務係に問い合わせること。

## 2. 出願資格

入学志願者として出願できる者は、次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 大学を卒業した者(平成29年3月までに卒業見込みの者を含む。)
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者(平成29年3月までに学士の学位を授与される見込みの者を含む。)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(平成29年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(平成29年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(平成29年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって我が国において、外国の大学の課程を有するものとして文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(平成29年3月までに修了見込みの者を含む。)

- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法（以下「法」）第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院において教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成29年3月末日までに22歳に達するもの

(注6) 法第102条第2項及び本学大学院通則第11条第8号に定める「大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの」に関する出願資格については、適用しません。

(注7) 社会人及び外国人留学生等は、選抜区分に関わらず、事前に必ず配属を希望する研究室（分野）の受入れ予定教員に照会し、入学後の研究計画等について、確認を受けてください。

(注8) 出願資格(9)又は(10)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ情報科学研究科教務係に照会し、本研究科が指定する書類を平成28年12月16日（金）までに提出してください。

### 3. 願 書 受 付

#### ○一般選抜および社会人選抜・外国人留学生等選抜

受付期間は、平成29年1月4日（水）から1月10日（火）までとします。

窓口での受付時間は、土・日曜日・祝日を除く午前9時から午後4時30分までとします。

願書郵送の場合は、出願用封筒を用い速達書留としてください。

なお、郵送で1月11日（水）以降に到着した出願書類等は、1月10日（火）までの消印のあるものに限り受け付けます。

#### ○早期卒業制度による卒業者を対象とする選抜

受付期間は、平成29年1月24日（火）から1月27日（金）までとします。

窓口での受付時間は、午前9時から午後4時30分までとします。

願書郵送の場合は、出願用封筒を用い速達書留としてください。

なお、郵送で1月28日（土）以降に到着した出願書類等は、1月27日（金）までの消印のあるものに限り受け付けます。

受付場所（郵送先） 東北大学情報科学研究科教務係  
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3-09  
電話（022）795-5814

### 4. 出 願 手 続

出願に必要な書類は、次の表のとおりです。

No.	提出書類等	摘 要
1	入学願書及び履歴書	本研究科所定の用紙
2	配属希望調書	本研究科所定の用紙
3	受験票及び写真票	本研究科所定の用紙（写真票に上半身無帽像で3か月以内に撮影した写真1枚を貼ること。）



4	卒業（見込）証明書又は学位授与（見込）証明書若しくは学位授与申請（予定）証明書又は修了（見込）証明書	出身大学の学長又は学部長の発行する卒業（見込）証明書、又は大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与（見込）証明書、若しくは短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書又は最終出身学校等の長の発行する修了（見込）証明書
5	成績証明書	出身大学の学長又は学部長、又は最終出身学校等の長が発行したもの。
6	TOEFL®Test 又は TOEIC®Test スコアシートの原本（注9）	情報・生命系群（2群）、機械・知能系群（3群）、土木工学群（4群）及び社会科学群（7群）の一般選抜および外国人留学生等選抜の志願者は、TOEFL®Test 又は TOEIC®Test スコアシートの原本を提出。選抜試験初日から過去2年以内に受験したもの。
7	検 定 料	30,000 円（郵送の場合は、郵便局が発行する普通為替証書*にし、指定受取人欄等は記入しないこと） ただし、本研究科へ入学した時に国費外国人留学生である予定の者及び東日本大震災、熊本地震による入学検定料免除該当者は提出不要。
8	領収書・領収書（控）	本研究科所定の用紙（出願者氏名を記入のこと。） ただし、本研究科へ入学した時に国費外国人留学生である予定の者及び東日本大震災、熊本地震による入学検定料免除該当者は提出不要。
9	受験票送付用封筒	本研究科所定の封筒（住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手 372 円分を貼ること。）
10	事務連絡用封筒	本研究科所定の封筒（住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手 530 円分を貼ること。）
11	そ の 他	1) 学力を表す論文・報告書等がある場合は提出すること。 2) 社会人（注5）または外国人留学生等（注4）が一般選抜へ出願する場合は、受入れ予定教員が作成した「確認書（研究計画等を確認していることを記したもの、様式任意）」を提出すること。

\*郵便局の貯金窓口に検定料と手数料を添えてお申込みください。

（注9）TOEFL iBT® Test、TOEFL® PBT Test および TOEIC®公開 Test のいずれかの試験の成績を採用します。団体受験用の TOEFL ITP® Test および TOEIC® IP Test は認めません。タイプの異なる複数の試験のスコアを提出することもできます。出願時に提出しない者は、英語の評価は 0 点とします。

なお、提出が必要な志願者は次のとおりです。詳細は、p.9～p.15 を参照してください。

- ・ 情報・生命系群（2群）、機械・知能系群（3群）、土木工学群（4群）、社会科学群（7群）：一般選抜及び外国人留学生等選抜の志願者

ただし、2群及び3群については、英語を母国語とする志願者は個別に問合せください。

TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

◎ 社会人選抜及び外国人留学生等選抜の志願者は、上記書類のほか、それぞれ次の書類を提出してください。

〔社会人選抜志願者〕

No.	提出書類等	摘 要
1	受 験 許 可 書	有職者は、所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式任意）。
2	在 職 証 明 書	在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式任意）。

3	受 入 承 諾 書	受入れ予定教員が作成したもの（様式任意）。
4	志 願 理 由 書	関心をもつ分野、研究計画、将来の目標等（A4判用紙に記載したもの）
5	卒 業 論 文 等	卒業論文、大学等における研究内容又は勤務先での業務内容等（A4判用紙に記載したもの）

〔外国人留学生等選抜志願者〕

No.	提出書類等	摘 要
1	受 入 承 諾 書	受入れ予定教員が作成したもの（様式任意）。
2	推 薦 書	出身大学の指導教員またはそれに準ずる者が作成した推薦書（様式任意）。ただし、日本国内の大学等を卒業した者又は平成 29 年 3 月までに卒業見込みの者は、提出する必要はない。
3	日本語能力を示す証明書	指導教員等が作成したもの（様式任意）。
4	国費外国人留学生証明書	他大学に在籍している国費外国人留学生のみ（在籍大学の発行する証明書）
5	受 験 許 可 書	有職者は、所属長の発行したもの。（社印等のあるもの・様式任意）。

## 5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、原則として、筆答試験（社会人選抜は小論文等）、口述試験、成績証明書及びその他の提出書類を総合して判断します。

ただし、筆答試験、小論文試験を実施しない群もありますので、p.9～p.17 の「専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容」を確認してください。

### 1) 一般選抜

志願者は、「研究室（分野）一覧」（p. 18～p. 20）及び本研究科ウェブサイト（<http://www.is.tohoku.ac.jp/jp/laboratory/>）を参照して配属希望順位 1 位の研究室（分野）を選択し、その研究室（分野）の専門試験科目群の筆答試験と口述試験を受験してください。（※印参照）（筆答試験を実施しない群もあります。）

群番号、研究室番号及び専攻の対応は、表－1 のとおりです。

また、各専門試験科目群の試験内容は、p. 9～p. 11 に記載のとおりです。

表－1

専門試験科目群		研究 室 番 号	専 攻
群番号	名 称		
1	数 学 群	A01-1, A01-2, A02-1, A02-2 A03, A04	情報基礎科学専攻
		B01-1, B01-2, B02-1, B02-2, B02-3, B03	システム情報科学専攻
2	情報・生命系群	(A05), (A07), (A08), (A09) (A10), A11, (A13), (A14) A16, A17	情報基礎科学専攻
		(B04), (B05), (B06), B07 (B08), B11, B12, (B13-1) (B13-2), B15	システム情報科学専攻



		(D01), (D02), D04, (D05) (D07), (D08), D10, D11 D12, D13	応用情報科学専攻
3	機械・知能系群	A06-1, A06-2, A12-1, A12-2 A15-1, A15-2	情報基礎科学専攻
		B09, B10-1, B10-2, B14	システム情報科学専攻
		D03-1, D03-2, D03-3, D09	応用情報科学専攻
4	土木工学群	C11-1, C11-2, C12-1, C12-2, C13-1, C13-2	人間社会情報科学専攻
5	言語・メディア群	C01, C06, C14, C15	人間社会情報科学専攻
6	心理・哲学群	C02, C03, C04, C05, C16	人間社会情報科学専攻
		D06	応用情報科学専攻
7	社会科学群	C07, C08, C09, C10	人間社会情報科学専攻

(注10) 括弧書きの研究室(分野)については、p.1(注1)を参照してください。

※前記のほか、下記のような受験方法を選択することができます。

受験方法(1) 筆答試験については、他の専門試験科目群で受ける。(ただし、数学群は筆答試験を実施しないため、筆答試験受験群として数学群を選択することはできません。また、数学群の入学志願者は、この受験方法を選択することはできません。)

受験方法(2) 筆答試験については、本研究科の専門試験科目群にない科目によって受ける。(科目によっては応じられないこともあります。)

受験方法(3) 上記の筆答試験・口述試験に代えて、自分のバックグラウンドに関連した小論文、口頭試問、外国語科目(英語)等による試験を受ける。(事前の書類審査によっては、この方法による受験が許可されない場合があります。)

これらの受験方法を希望する者は、平成28年12月16日(金)までに、必ず情報科学研究科教務係及び配属を希望する研究室(分野)の受入れ予定教員に問合せの上、具体的な受験方法を確認してください。

## 2) 早期卒業生選抜及び外国人留学生等選抜

志願者は、「研究室(分野)一覧」(p.18～p.20)及び本研究科ウェブサイト(<http://www.is.tohoku.ac.jp/jp/laboratory/>)を参照して配属希望順位1位の研究室(分野)を選択し、その研究室(分野)の専門試験科目群の筆答試験と口述試験を受験してください。(※印参照)(筆答試験を実施しない群もあります。)

群番号、研究室番号及び専攻の対応は、表-2のとおりです。

また、各専門試験科目群の試験内容は、p.12～p.15に記載のとおりです。

表-2

専門試験科目群		研究室番号	専攻
群番号	名称		
1	数 学 群	A01-1, A01-2, A02-1, A02-2 A03, A04	情報基礎科学専攻
		B01-1, B01-2, B02-1, B02-2, B02-3, B03	システム情報科学専攻
2	情報・生命系群	A05, A07, A08, A09, A10, A11 A13, A14, A16, A17	情報基礎科学専攻

		B04, B05, B06, B07, B08, B11 B12, B13-1, B13-2, B15	システム情報科学専攻
		D01, D02, D04, D05, D07, D08 D10, D11, D12, D13	応用情報科学専攻
3	機械・知能系群	A06-1, A06-2, A12-1, A12-2 A15-1, A15-2	情報基礎科学専攻
		B09, B10-1, B10-2, B14	システム情報科学専攻
		D03-1, D03-2, D03-3, D09	応用情報科学専攻
4	土木工学群	C11-1, C11-2, C12-1, C12-2 C13-1, C13-2	人間社会情報科学専攻
5	言語・メディア群	C01, C06, C14, C15	人間社会情報科学専攻
6	心理・哲学群	C02, C03, C04, C05, C16	人間社会情報科学専攻
		D06	応用情報科学専攻
7	社会科学群	C07, C08, C09, C10	人間社会情報科学専攻

### 3) 社会人選抜

社会人選抜は、官公庁・学校・企業等の技術者・教員・研究者等として、原則として2年以上勤務した経験がある者を対象とします。社会人が職場での経験を勉学・研究に生かすとともに、さらにその知識・技術をリフレッシュし、あるいは新たな分野の知識・技術を修得し、創造的能力を発展させることを目的としています。

選抜に当たっては、原則として小論文、口述試験及び提出書類の審査によって社会人としての業務歴又は研究内容、基礎学力の評価等を総合的に判断します。(小論文試験を実施しない群もあります。)また、専攻しようとする研究分野とこれまでの業務歴・研究歴との関係を重視します。

各専門試験科目群の試験内容は、p. 16～p. 17に記載のとおりです。

## 6. 試験日程及び試験会場

### (1) 選抜試験日程

平成29年3月1日(水)から3月3日(金)までの間に p. 9～p. 17 の日程により、専門試験科目群ごとに行います。

### (2) 試験会場及び試験日時

試験会場及び詳細については、受験票を送付する際にお知らせします。

試験日時等については、後掲 (p. 9～P. 17) の「専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容」を参照してください。

## 7. 合格者の発表

平成29年3月7日(火)午後5時頃に合格者の受験記号番号を本研究科ウェブサイトに掲載します。(http://www.is.tohoku.ac.jp/)

なお、志願者に対しては、事務連絡用封筒により結果を通知します。

## 8. 長期履修学生制度の適用

本研究科では、職業を有している等の事情(注11)によって、標準修業年限である2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する(注12)ことを願い出た者



については、審査の上、許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といいます。

この制度に関する照会は随時受け付けますが、適用申請方法等については、合格者発表後に送付する入学手続に関する書類で通知します。

(注1 1) 該当者： ①企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者、②出産、育児、介護等を行う必要のある者、③その他、本研究科が適当と認める者

(注1 2) 在学年限は4年を超えることはできません。ただし、許可された在学年限の短縮を願い出ることにはできません。なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意はしません。

## 9. 入 学 手 続

入学手続の詳細については、合格通知書を送付する際に通知しますが、平成29年3月下旬となります。

## 10. 必 要 経 費

- (1) 入 学 料 282,000 円 (予定額)
- (2) 授業料前期分 267,900 円 < 年額 535,800 円 > (予定額)

(注1 3) 東北大学在学中の授業料は、指定銀行の預金口座からの自動引落しにより、大学に納付していただくことになります。なお、上記の納付金額は予定額であり、授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新授業料等が適用されます。

(注1 4) 入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、合格発表後に送付する入学手続に関する書類で通知します。

## 11. 注 意 事 項

- (1) 出願書類及び検定料は返付しません。
- (2) 受験票が試験日10日前になっても到着しない場合は、情報科学研究科教務係に問い合わせてください。
- (3) 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、該当者は、平成28年12月16日(金)までに情報科学研究科教務係に相談してください。
- (4) 郵便で出願書類を請求する場合は、住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手205円分を貼った返信用封筒(角形2号:約34cm×約24cm)を同封してください。  
また、研究科の詳細を案内したパンフレットも希望する場合は、請求封筒にその旨を朱書きし、郵便切手400円分を貼った返信用封筒(形式は同上)を同封してください。
- (5) 平成29年度東北大学大学院情報科学研究科の入学試験を受験し、不合格になった方に対して、入学試験成績の開示をいたします。希望する方は、教務係に手続き等について照会してください。申請は、合格発表日より90日以内に受験者本人からの開示請求(所定の申請書)があったものに限り認めます。
- (6) 個人情報の取り扱いについて
  - ① 入学者選抜の過程で収集した個人情報は、入学者選抜の実施、入学手続、入学後の学生支援関係(奨学及び授業料免除、健康管理等)及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収等の業務を行うために利用し、この目的以外には利用しません。
  - ② 入学者選抜の過程で収集した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取扱い、本人の承諾なく、第三者に開示・提供しません。
  - ③ 東北大学大学院情報科学研究科に出願した方は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

平成28年11月

東北大学大学院情報科学研究科

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

電話 (022) 795-5814

<http://www.is.tohoku.ac.jp/>

10月入学制度について

一般、社会人、外国人留学生等（帰国子女を含む。）入学志願者に対する10月入学制度についての募集要項は、その他の学生募集要項とともに、平成29年6月上旬に発表する予定です。



## 専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容

平成29年4月

前期2年の課程 一般選抜

群番号1 数学群	
口述試験	<p>3月3日(金) 開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学における卒業研究(予定)の内容又は主として研究した数学の分野について15分程度で発表する(PCプロジェクター使用可)。</p> <p>希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。</p> <p>発表内容の概要を日本語および英語、各A4判用紙1ページ程度で、入学後に希望する研究テーマの概要を日本語、A4判用紙1ページ程度で作成して、当日5部持参すること。</p>
群番号2 情報・生命系群	
筆答試験 ※	<p>英 語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test又はTOEIC®Testのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFL®Testの場合はExaminee's Score Record(受験者用控えスコア票)であり、TOEIC®Testの場合はOfficial Score Certificate(公式認定証)である。TOEFL®Test Official Score Report(公式スコア票)を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国ETSから本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科DIコードは2149)。英語を母国語にする学生は、個別に問合せること。</p> <p>基礎科目 3月1日(水) 9:30~11:30</p> <p>物理・情報系:電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択</p> <p>医学・生物系:分子生物学基礎、一般生理学基礎、神経内分泌学基礎、病態生理学基礎、健康科学基礎の5題から2題選択</p> <p>専門科目 3月2日(木) 9:30~11:30</p> <p>物理・情報系:電気工学、通信工学、電子工学、計算機1、計算機2、物理専門の6題から2題選択</p> <p>医学・生物系:分子生物学専門、一般生理学専門、神経内分泌学専門、病態生理学専門、健康科学専門の5題から2題選択</p> <p>注1) 受験する系(物理・情報あるいは医学・生物)を願書の専門試験科目群名(情報・生命系群)とあわせて記入すること。また、各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは<a href="http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/pastexam.html">http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/pastexam.html</a>のウェブサイトを確認すること。</p> <p>※ 科目の改訂に注意すること。(平成29年3月実施入試より)</p> <p>注2) 上記の2群筆答試験を受験できる者は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表-1(2群)の括弧書きでない研究室への配属を第1希望とする志願者。</li> <li>○2群以外の研究室への配属を第1希望とし、5. 選抜方法 1)に記載の受験方法(1)による受験を希望する志願者。ただし、口述試験は第1希望の研究室の群で受験すること。</li> </ul> <p>注3) 表-1(2群)の括弧書き研究室については、5. 選抜方法 1)に記載の受験方法(1)及び(2)による受験のみが認められている。</p>
口述試験	<p>3月2日(木)又は3月3日(金) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>(成績証明書の内容によって口述試験を免除することがある)</p> <p>卒業論文(作成中のものも含む)の内容、入学後の研究希望等について10分程度で発表。(入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要)</p> <p>注4) 上記の口述試験の対象となる者は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表-1(2群)の括弧書きの研究室への配属を第1希望とし、5. 選抜方法 1)に記載の受験方法(1)又は(2)による受験を希望する志願者</li> <li>○表-1(2群)の括弧書きでない研究室への配属を第1希望とする志願者</li> </ul>

群番号3 機械・知能系群	
筆答試験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Examinee's Score Record (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Official Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母国語にする学生は、個別に問合せること。
	数 学 A 3月1日(水) 10:30~12:00 (集合時間 10:00) 微積分、線形代数、ベクトル解析、常微分方程式
	数 学 B 3月1日(水) 13:30~15:00 フーリエ級数・変換、ラプラス変換、偏微分方程式
	専門科目 3月2日(木) 9:00~12:00 (集合時間 8:30) (下記8科目から2科目選択。あらかじめ申告すること) 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学、材料物性学、電磁気学、量子力学
口述試験	3月3日(金) 集合時間は、筆答試験中に指示する。 筆答試験で合格した者及び筆答試験免除の者のみ口述試験を行う。 卒業研究(予定)の内容、入学後の研究希望等について試問する。 (入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要)

群番号4 土木工学群	
筆答試験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Examinee's Score Record (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Official Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。
	小 論 文 3月1日(水) 9:30~11:00 土木工学関連のテーマ
	専門科目 3月1日(水) 13:00~ 土木系学科出身の志願者は、以下の8科目17問より7問を選択(試験時間は3時間30分) 土木系ではない学科出身の志願者は、以下の8科目17問より4問を選択(試験時間は2時間) 1. 数学(微分・積分(1問)、線形代数(1問)、確率・統計(1問))、 2. 弾性体と構造の力学(2問)、3. 地盤とコンクリート(2問)、 4. 水理学(2問)、5. 水質と環境(2問)、6. 生物と生態(2問)、 7. 交通(2問)、8. 計画数理(2問)。
	備 考 (1) 土木系学科とは、土木工学の分野を主体とする学科で、名称によらない。土木系学科の判定については教務係に照会すること。 (2) 電卓・辞書の使用は認めない。 (3) 過去の入試問題・出題範囲は、以下のウェブサイトを参照すること。 <a href="http://www.civil.tohoku.ac.jp/inshi.html">http://www.civil.tohoku.ac.jp/inshi.html</a>
口述試験	3月1日(水)又は3月2日(木):試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものを含む)の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。

群番号5 言語・メディア群	
筆答試験 ※	専門科目 3月2日(木) 10:00~13:00 一般言語学、統語論、意味論、形態論、記号論、文学理論、作品解釈論、メディア論、情報リテラシー論、文化研究、ドイツ語・フランス語の分野から3問を選択解答する。ただし、言語系、メディア系のそれぞれの志望者は、それぞれ問題冊子に指定された問題から少なくとも2問を選択解答すること。 注意：ドイツ語・フランス語を選択した者は辞書使用可。辞書は出題者が用意する。
	外国語 3月2日(木) 14:30~15:30 英語
口述試験	3月3日(金) 10:00~ 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)の内容、入学後の研究希望等について15分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図版等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号6 心理・哲学群	
筆答試験 ※	専門科目 3月2日(木) 10:00~13:00 心理学(感覚・知覚、認知、学習・記憶、パーソナリティ、心理統計)、哲学(哲学史)に関する12題の中から4題選択
	外国語 3月2日(木) 14:30~15:30 英語
口述試験	3月3日(金) 10:00~ 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図表等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号7 社会科学群	
筆答試験 ※	英語 入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test又はTOEIC®Testのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFL®Testの場合はExaminee's Score Record(受験者用控えスコア票)であり、TOEIC®Testの場合はOfficial Score Certificate(公式認定証)である。TOEFL®Test Official Score Report(公式スコア票)を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国ETSから本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科DIコードは2149)。
	専門科目 3月2日(木) 10:00~13:00 以下のうち、1つの学系を選択 社会学系：社会学史、現代社会論、地域社会学、家族社会学、社会調査法を範囲とする5問題から3問題選択 政治学系：政治意識論、行政学、政治過程論、統計学、社会調査法を範囲とする5問題から3問題選択 経済学系：ミクロ経済学、マクロ経済学、都市・地域経済学、統計学、経済数学を範囲とする5問題から3問題選択 必要に応じて電卓を出題者が用意する。 ※受験する学系(社会学系、政治学系、あるいは経済学系)を願書の専門試験科目群名(社会科学群)と併せて記入すること。出願後に受験する学系を変更することは認めない。
口述試験	3月3日(金) 10:00~ 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

※ 各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。  
 ただし、2,3,4,7群については、TOEFL®Test又はTOEIC®Testのスコアシートの原本を、出願時に必ず提出してください。



※下記群以外は一般選抜の試験日時及び試験内容と同一になります。

群番号2 情報・生命系群	
筆答試験	<p>英 語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Examinee's Score Record (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Official Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母国語にする学生は、個別に問合せること。</p>
	<p>基礎科目 3月1日(水) 9:30~11:30</p> <p>物理・情報系: 電磁気学、電気回路、情報基礎 1、情報基礎 2、物理基礎、数学基礎の 6 題から 2 題選択</p> <p>医学・生物系: 分子生物学基礎、一般生理学基礎、神経内分泌学基礎、病態生理学基礎、健康科学基礎の 5 題から 2 題選択</p>
	<p>専門科目 3月2日(木) 9:30~11:30</p> <p>物理・情報系: 電気工学、通信工学、電子工学、計算機 1、計算機 2、物理専門の 6 題から 2 題選択</p> <p>医学・生物系: 分子生物学専門、一般生理学専門、神経内分泌学専門、病態生理学専門、健康科学専門の 5 題から 2 題選択</p>
	<p>注1) 受験する系(物理・情報あるいは医学・生物)を願書の専門試験科目群名(情報・生命系群)とあわせて記入すること。また、各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは <a href="http://www.ecei.tohoku.ac.jp/">http://www.ecei.tohoku.ac.jp/</a> のウェブサイトを確認すること。</p> <p>※ 科目の改訂に注意すること。(平成29年3月実施入試より)</p> <p>注2) 成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。</p>
口述試験	<p>3月2日(木)又は3月3日(金) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>(成績証明書の内容によって口述試験を免除することがある)</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)及び入学後の研究希望等について10分程度で発表。</p>

群番号3 機械・知能系群	
筆答試験	<p>英 語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Examinee's Score Record (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Official Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母国語にする学生は、個別に問合せること。</p>
	<p>数 学 A 3月1日(水) 10:30~12:00 (集合時間 10:00)</p> <p>(微積分、線形代数、ベクトル解析、常微分方程式)</p>
	<p>数 学 B 3月1日(水) 13:30~15:00</p> <p>(フーリエ級数・変換、ラプラス変換、偏微分方程式)</p>
	<p>専門科目 3月2日(木) 9:00~12:00 (集合時間 8:30)</p> <p>(下記8科目から2科目選択。あらかじめ申告すること)</p> <p>熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学、材料物性学、電磁気学、量子力学</p>
	<p>注意: 成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。</p>
口述試験	<p>3月3日(金) 集合時間は、筆答試験中に指示する。</p> <p>筆答試験で合格した者及び筆答試験免除の者のみ口述試験を行う。</p> <p>卒業研究(予定)の内容、入学後の研究希望等について試問する。</p> <p>(入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要)</p>

群番号1 数学群	
口述試験	<p>3月3日（金） 開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学における卒業研究（予定）の内容又は主として研究した数学の分野について15分程度で発表する（PCプロジェクター使用可）。</p> <p>希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。</p> <p>発表内容の概要を英語、A4判用紙1ページ程度で、入学後に希望する研究テーマの概要を日本語または英語、A4判用紙1ページ程度で作成して、当日5部持参すること。</p>

群番号2 情報・生命系群	
筆答試験 ※	<p>基礎科目 3月1日（水） 9：30～11：30</p> <p>物理・情報系：電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択</p> <p>医学・生物系：分子生物学基礎、一般生理学基礎、神経内分泌学基礎、病態生理学基礎、健康科学基礎の5題から2題選択</p>
	<p>英 語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test又はTOEIC®Testのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFL®Testの場合はExaminee's Score Record（受験者用控えスコア票）であり、TOEIC®Testの場合はOfficial Score Certificate（公式認定証）である。TOEFL®Test Official Score Report（公式スコア票）を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国ETSから本研究科に到着するよう各自手配すること（送付のための本研究科DIコードは2149）。英語を母国語にする学生は、個別に問合せること。</p>
	<p>専門科目 3月2日（木） 9：30～11：30</p> <p>物理・情報系：電気工学、通信工学、電子工学、計算機1、計算機2、物理専門の6題から2題選択</p> <p>医学・生物系：分子生物学専門、一般生理学専門、神経内分泌学専門、病態生理学専門、健康科学専門の5題から2題選択</p>
	<p>注）受験する系（物理・情報あるいは医学・生物）を願書の専門試験科目群名（情報・生命系群）と併せて記入すること。また、各科目の出題範囲については専攻に照会するか、あるいは<a href="http://www.ecei.tohoku.ac.jp">http://www.ecei.tohoku.ac.jp</a>のウェブサイトで確認すること。</p> <p>※ 科目の改訂に注意すること。（平成29年3月実施入試より）</p>
口述試験	<p>3月2日（木）又は3月3日（金） 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものも含む）及び入学後の研究希望等について10分程度で発表。（本学出身の外国人留学生については上記の発表を免除することがある）</p>

群番号3 機械・知能系群	
筆答試験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Examinee's Score Record (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Official Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日まで、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母国語にする学生は、個別に問合せること。
	数 学 A 3月1日 (水) 10:30~12:00 (集合時間 10:00) 微積分、線形代数、ベクトル解析、常微分方程式
	数 学 B 3月1日 (水) 13:30~15:00 フーリエ級数・変換、ラプラス変換、偏微分方程式
	専門科目 3月2日 (木) 9:00~12:00 (集合時間 8:30) (下記8科目から2科目選択。あらかじめ申告すること) 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学、材料物性学、電磁気学、量子力学
口述試験	3月3日 (金) 集合時間は別途連絡する。 筆答試験で合格した者及び筆答試験免除の者のみ口述試験を行う。出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文 (現在作成中のものも含む) について10分程度で発表 (PC プロジェクター使用可) なお、発表する内容に関する資料 (発表要旨、図面等を A4 判用紙に記載したもの) を、当日13部持参すること。ただし、本学出身の外国人留学生については、上記の発表は不要であるが、卒業研究 (予定) の内容、入学後の研究希望等について試問する。

群番号4 土木工学群	
筆答試験 ※	英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Examinee's Score Record (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Official Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日まで、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。
	専門科目 3月1日 (水) 13:00~15:00 以下の8科目17問より4問を選択 1. 数学 (微分・積分 (1問)、線形代数 (1問)、確率・統計 (1問))、 2. 弾性体と構造の力学 (2問)、3. 地盤とコンクリート (2問)、 4. 水理学 (2問)、5. 水質と環境 (2問)、6. 生物と生態 (2問)、 7. 交通 (2問)、8. 計画数理 (2問)。
	備 考 (1) 電卓・辞書の使用は認めない。 (2) 過去の入試問題・出題範囲は、以下のウェブサイトを参照すること。 <a href="http://www.civil.tohoku.ac.jp/inshi.html">http://www.civil.tohoku.ac.jp/inshi.html</a>
口述試験	3月1日 (水) 又は3月2日 (木) : 試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文 (現在作成中のものも含む) の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。また、日本語能力についても判定する。



群番号5 言語・メディア群	
筆答試験 ※	専門科目 3月2日(木) 10:00~13:00 一般言語学、統語論、意味論、形態論、記号論、文学理論、作品解釈論、メディア論、情報リテラシー論、文化研究、ドイツ語・フランス語の分野から2問を選択解答する。ただし、言語系、メディア系のそれぞれの志望者は、それぞれ問題冊子に指定された問題から選択解答すること。 注意：ドイツ語・フランス語を選択した者は辞書使用可。辞書は出題者が用意する。
	外国語 3月2日(木) 14:30~15:30 英語又は日本語
口述試験	3月3日(金) 10:00~ 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)の内容、入学後の研究希望等について15分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図表等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号6 心理・哲学群	
筆答試験 ※	専門科目 3月2日(木) 10:00~13:00 心理学(感覚・知覚、認知、学習・記憶、パーソナリティ、心理統計)、哲学(哲学史)に関する12題の中から3題選択
	外国語 3月2日(木) 14:30~15:30 英語及び日本語
口述試験	3月3日(金) 10:00~ 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図表をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号7 社会科学群	
筆答試験 ※	英語 入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test又はTOEIC®Testのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFL®Testの場合はExaminee's Score Record(受験者用控えスコア票)であり、TOEIC®Testの場合はOfficial Score Certificate(公式認定証)である。TOEFL®Test Official Score Report(公式スコア票)を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国ETSから本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科DIコードは2149)。
	専門科目 3月2日(木) 10:00~13:00 以下のうち、1つの学系を選択 社会学系：社会学史、現代社会論、地域社会学、家族社会学、社会調査法を範囲とする5問題から3問題選択 政治学系：政治意識論、行政学、政治過程論、統計学、社会調査法を範囲とする5問題から3問題選択 経済学系：ミクロ経済学、マクロ経済学、都市・地域経済学、統計学、経済数学を範囲とする5問題から3問題選択 英語で解答することもできる。必要に応じて電卓を出題者が用意する。 ※受験する学系(社会学系、政治学系、あるいは経済学系)を願書の専門試験科目群名(社会科学群)と併せて記入すること。出願後に受験する学系を変更することは認めない。
口述試験	3月3日(金) 10:00~ 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図表等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。発表は英語で行うこともできる。

※ 各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。ただし、1,2,3,4,7群については、TOEFL®Test又はTOEIC®Testのスコアシートの原本を出願時に必ず提出してください。

群番号1 数学群	
口述試験	<p>3月3日（金） 開始時刻については別途連絡する。</p> <p>勤務先において又は個人で主として研究した数学の分野について 15 分程度で発表する（PC プロジェクター使用可）。</p> <p>希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。</p> <p>発表内容の概要を日本語および英語、各 A4 判用紙 1 ページ程度で、入学後に希望する研究テーマの概要を日本語、A4 判用紙 1 ページ程度で作成して、当日 5 部持参すること。</p> <p>ただし、日本語を母国語としないものはいずれの概要も英語で作成したもののみでよい。</p>

群番号2 情報・生命系群	
口述試験	<p>3月2日（木）又は3月3日（金） 試験日時については別途連絡する。</p> <p>これまでの研究（業務）の内容及び入学後の研究希望等について 10 分程度で発表。</p>

群番号3 機械・知能系群	
筆答試験	<p>数学A、数学B及び専門8科目の計10科目から2科目を選択（あらかじめ申告すること）専門科目の筆答試験終了時刻は、選択する科目により異なる。</p>
	<p>数 学 A    3月1日（水） 10：30～12：00（集合時刻 10：00）</p> <p>微積分、線形代数、ベクトル解析、常微分方程式</p>
	<p>数 学 B    3月1日（水） 13：30～15：00</p> <p>フーリエ級数・変換、ラプラス変換、偏微分方程式</p>
	<p>専門科目    3月2日（木） 9：00～12：00（集合時間 8：30）</p> <p>熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学、材料物性学、電磁気学、量子力学</p>
口述試験	<p>3月3日（金） 集合時間は別途連絡する。</p> <p>筆答試験で合格した者及び筆答試験免除の者のみ口述試験を行う。これまでの研究内容及び入学後の研究希望等について 10 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図面等は A4 判用紙に記載したもの）を、当日 13 部持参すること。英語の能力を問う場合もある。</p>
	<p>備 考</p> <p>提出書類による事前審査によって、筆答試験を免除することがある。</p> <p>詳細は機械・知能系群に問合せること。</p> <p>照会先：機械・知能系教務担当（TEL）022-795-7030</p>

群番号4 土木工学群	
小論文	3月1日(水) 9:30~11:00 土木工学関連のテーマ
口述試験	3月1日(水) 13:00~ 勤務先における研究・業務の内容を10分程度で発表(PCプロジェクター使用可。ただし、PCプロジェクターを使用する場合は、事前に教務係に問合せること)。発表の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日8部持参すること。

群番号5 言語・メディア群	
小論文	3月2日(木) 10:00~11:30 当日指定する論述問題に解答する。
口述試験	3月3日(金) 試験実施時間については別途連絡する。 これまでの研究(業務)及び入学後の研究計画について15分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表内容に関する資料(発表要旨・図版等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号6 心理・哲学群	
小論文	3月2日(木) 10:00~11:30 テーマは当日提示する。
口述試験	3月3日(金) 10:00~ 勤務先における研究(業務)内容及び入学後の研究計画を20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図表等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。

群番号7 社会科学群	
小論文	3月2日(木) 10:00~13:00 試験時に指示される課題から1題を選択し小論文を作成すること。 社会学・政治学・経済学の範囲から希望研究分野に関連した課題が出題される。
口述試験	3月3日(金) 試験実施時間については別途連絡する。 勤務先における研究(業務)内容を20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。



平成29年度 東北大学大学院情報科学研究科「研究室（分野）一覧」

○各研究室（分野）の研究内容等は本研究科ウェブサイト（<http://www.is.tohoku.ac.jp/jp/laboratory/>）を参照してください。

群番号	名称	講座名	研究室（分野）名	研究室番号	教員名	専攻
1	数 学 群	情報基礎数理学講座	情報基礎数理学Ⅰ	A01-1	教授 宗政 昭弘	情報基礎科学専攻
				A01-2	准教授 島倉 裕樹	
			情報基礎数理学Ⅱ	A02-1	教授 須川 敏幸	
				A02-2	准教授 田中 太初	
			情報基礎数理学Ⅲ	A03	教授 村上 斉	
		情報基礎数理学Ⅳ	A04	教授 瀬野 裕美		
		システム情報数理学講座	システム情報数理学Ⅰ	B01-1	教授 原田 昌晃	システム情報科学専攻
				B01-2	准教授 船野 敬	
			システム情報数理学Ⅱ	B02-1	教授 尾畑 伸明	
				B02-2	准教授 福泉 麗佳	
B02-3	准教授 瀬川 悦生					
システム情報数理学Ⅲ	B03	教授 坂口 茂				
2	情報・生命系群	情報応用数理学講座	情報統計物理学	A05	(未定)	情報基礎科学専攻
		計算科学講座	計算理論	A07	(未定)	
			計算機構論	A08	教授 青木 孝文	
			知能集積システム学	A09	教授 張山 昌論	
		ソフトウェア科学講座	ファームウェア科学	A10	(未定)	
			ソフトウェア基礎科学	A11	教授 住井英二郎 准教授 松田 一孝	
		情報論理学講座	情報論理学	A13	教授 外山 芳人*	
		コミュニケーション論講座	コミュニケーション論	A14	教授 木下 哲男** 准教授 北形 元	
		情報セキュリティ論講座	情報セキュリティ論	A16	教授 静谷 啓樹 准教授 酒井 正夫 准教授 磯辺 秀司	
		広域情報処理論講座	広域情報処理論	A17	教授 工藤 純一	
		知能情報科学講座	アルゴリズム論	B04	教授 周 暁 准教授 伊藤 健洋	システム情報科学専攻
			知能システム科学	B05	教授 篠原 歩 准教授 吉仲 亮	
			情報伝達学	B06	教授 乾 健太郎 准教授 岡崎 直観	
生体システム情報学講座	情報生物学	B07	教授 井樋 慶一 准教授 佐藤 達也			
	情報システム評価学	B08	教授 徳山 豪 准教授 全 眞嬉			

群番号	名称	講座名	研究室(分野)名	研究室番号	教員名	専攻		
2	情報・生命系群	音情報科学講座	音情報科学	B11	教授 鈴木 陽一 准教授 坂本 修一	システム情報科学専攻		
		高次視覚情報学講座	高次視覚情報学	B12	教授 塩入 諭 准教授 栗木 一郎 准教授 松宮 一道 准教授 曾 加 蕙			
		情報コンテンツ学講座	情報コンテンツ学	B13-1	教授 北村 喜文			
				B13-2	准教授 青木 輝勝			
		ソフトウェア構成論講座	ソフトウェア構成論	B15	教授 大堀 淳 准教授 上野 雄大	応用情報科学専攻		
		応用情報技術論講座	物理フラクチュオマティクス論	D01	教授 田中 和之 准教授 大関 真之			
			情報通信技術論	D02	教授 加藤 寧 准教授 西山 大樹 准教授 Zubair Md Fadhullah			
		応用生命情報学講座	生命情報システム科学	D04	教授 木下 賢吾 准教授 大林 武			
			バイオモデリング論	D05	教授 中尾 光之 准教授 片山 統裕			
		情報通信ソフトウェア学講座	情報通信ソフトウェア学	D07	教授 菅沼 拓夫 准教授 阿部 亨			
		情報ネットワーク論講座	情報ネットワーク論	D08	教授 曾根 秀昭 准教授 水木 敬明			
		ブレインファンクション集積学講座	ブレインファンクション集積学	D10	教授 堀尾 喜彦			
		健康情報学講座	健康情報学	D11	教授 木内 喜孝 教授 伊藤 千裕 准教授 小川 晋 准教授 佐藤 公雄			
		複雑系統計科学講座	複雑系統計科学	D12	教授 吉本 敦 准教授 瀧澤 由美 准教授 三分一史和			
		バイオメディカル情報解析学講座	バイオメディカル情報解析学	D13	教授 長崎 正朗 准教授 山下 理宇			
		3	機械・知能系群	情報応用数理学講座	計算数理学	A06-1	教授 山本 悟	情報基礎科学専攻
						A06-2	准教授 佐野健太郎	
				ソフトウェア科学講座	アーキテクチャ学	A12-1	教授 小林 広明	
						A12-2	准教授 滝沢 寛之	
超高速情報処理論講座	超高速情報処理論			A15-1	准教授 後藤 英昭			
				A15-2	准教授 江川 隆輔			
知能ロボティクス学講座	イメージ解析学			B09	教授 岡谷 貴之	システム情報科学専攻		
	知能制御システム学			B10-1	教授 橋本 浩一			
B10-2				准教授 鏡 慎吾				
融合流体情報学講座	融合流体情報学			B14	教授 石本 淳	応用情報科学専攻		
応用情報技術論講座	人間-ロボット情報学			D03-1	教授 田所 諭			
		D03-2	准教授 昆陽 雅司					
		D03-3	准教授 多田隼建二郎					
流動システム情報学講座	流動システム情報学	D09	教授 服部 裕司					

群番号	名称	講座名	研究室(分野)名	研究室番号	教員名	専攻
4	土木工学群	人間社会計画学講座	空間計画科学	C11-1	教授 桑原 雅夫	人間社会情報科学専攻
				C11-2	准教授 井上 亮	
			社会システム計画学	C12-1	教授 河野 達仁	
				C12-2	准教授 福本 潤也	
			交通制御学	C13-1	教授 赤松 隆	
				C13-2	准教授 林 俊介	
5	言語・メディア群	人間情報学講座	言語情報学	C01	准教授 菊地 朗	人間社会情報科学専攻
			言語テキスト解析論	C06	教授 小川 芳樹 准教授 長野 明子	
		メディア情報学講座	メディア文化論	C14	教授 堀田 龍也 講師 坂田 邦子	
			メディア記号論	C15	准教授 窪 俊一 准教授 森田 直子	
			メディア記号論	C15	准教授 窪 俊一 准教授 森田 直子	
6	心理・哲学群	人間情報学講座	学習心理情報学	C02	(未定)	人間社会情報科学専攻
			認知心理情報学	C03	准教授 和田 裕一	
			人間情報哲学	C04	教授 森 一郎	
			論理分析学	C05	准教授 篠澤 和久	
		コミュニケーション心理学講座	コミュニケーション心理学	C16	教授 邑本 俊亮	
		応用生命情報学講座	認知情報学	D06	(未定)	応用情報科学専攻
7	社会科学群	社会政治情報学講座	社会構造変動論	C07	准教授 徳川 直人	人間社会情報科学専攻
			政治情報学	C08	准教授 河村 和徳 准教授 東島 雅昌	
		社会経済情報学講座	都市社会経済システム分析	C09	教授 曾 道智 准教授 伊藤 亮	
			地域計量システム分析	C10	(未定)	
			地域計量システム分析	C10	(未定)	

\*印の教員は、平成30年3月退職予定です。

\*\*印の教員は、平成31年3月退職予定です。





東北大学

**GSIS**

Graduate School of Information Sciences

Tohoku University

Aoba-ku, Sendai 980-8579, Japan

Phone: 022-795-5814

<http://www.is.tohoku.ac.jp>